

くじ引きの方法

落札者（落札候補者）が2者以上同額となった場合の「くじ」による落札者の決定は、以下のとおり行う。

1 入札（見積）書の「くじ番号」欄に任意の値を記入

くじを行う場合に備えて、入札（見積）書の「くじ番号」欄に、入札（見積）書提出時にあらかじめ任意の3桁の数字「000～999」を記入する。（全ての桁に記入が必要）

なお、**1文字でも記入のない場合や1文字でも判別できない数字がある場合などは**、奈良県広域消防組合競争入札等参加資格審査申請（以下「申請」という。）において返却した「参加資格審査申請受領書に記載している受付番号（以下「受付番号」という。）」の**下1桁を連続した3桁として取扱う。**

注）くじ番号の取扱い例

申請時の受付番号	記入されたくじ番号			くじ番号が判別できる場合	1文字でも記入のない場合又は1文字でも判別できない場合
30-11 <u>9</u>	8	7	5	875	999
31-22 <u>5</u>	2	6	9	269	555
2-2 <u>2</u>	1	1	9	119	222
30-2 <u>2</u>	4	0	0	400	222

2 くじの手順

① 同額入札（見積）者の申請時の受付番号の下3桁（－「ハイフン」より下の数字をいう。なお、3桁に満たない場合は、頭に「0」を加えるものとする。）の小さいものから順に0から始まる「抽選番号」（0, 1, 2, 3, ...）を付与する。

※ 下3桁が同一の数字の場合は、上2桁（－「ハイフン」より上の数字をいう。なお、2桁に満たない場合は、頭に「0」を加えるものとする。）の小さいものに若い番号を付与する。

② 同額となった入札（見積）書に記入された「くじ番号」を合計し、その合計額を同額入札（見積）者の数で除し、「余り」を算出する。

③ 上記①の「抽選番号」と上記②の「余り」が一致した者を落札者（落札候補者）とする。

4者が同額入札（見積）を行った場合のくじ手順（例）

① 「抽選番号」を付与する。

業者名	申請時の受付番号	下3桁	上2桁	付与された抽選番号
A 業者	30-119	119	30	2
B 業者	31-225	225	31	3
C 業者	2-22	022	02	0
D 業者	30-22	022	30	1

② 「くじ番号」の合計を同額入札（見積）者数で除し、「余り」を算出する。

業者名	くじ番号		余りの算出
A 業者	875		$875 + 269 + 119 + 400 = 1,663$ $1,663 \div 4 \text{ 者} = 415 \text{ (余り} \dots \text{3)}$
B 業者	269		
C 業者	119		
D 業者	400		

③ 落札者（落札候補者）を決定する。

業者名	付与された抽選番号	余り	落札者（落札候補者）の決定
A 業者	2	3	—
B 業者	3		落札者（落札候補者）
C 業者	0		—
D 業者	1		—

くじ番号の記入例

くじ番号	1	1	9
------	---	---	---

見 積 書

・「0000～999」の任意の3桁の数字を記入すること。
・1文字でも記入のない場合や文字の判別がつかない場合は、受付番号の下1桁を連続した3桁として取扱う。（くじ引きの方法 参照）

金 _____ 円（消費税抜）

ただし、〇〇〇〇の購入について仕様書及び見積条件を厳守のうえ、上記のとおり見積りします。

見積書到着期限

令和〇年〇月〇日

奈良県広域消防組合

管 理 者 様

見 積 業 者

所 在 地

商号又は名称

代表者役職・氏名

㊞